

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	⑤保健・医療	2	健康づくりを支える環境の整備

事業名	飼い犬登録事業	担当課名	環境課
-----	---------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、狂犬病予防法に基づき、狂犬病の発生予防、蔓延防止及び撲滅することにより、公衆衛生の向上の増進を図ることを目的とする。
(事業概要等)
狂犬病予防法に基づく飼犬の登録及び予防注射接種の促進業務

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	707	902	828	1,160	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
飼い犬登録頭数(新規)	頭	187	214	356	300
予防注射頭数	頭	1,422	1,473	1,464	1,450
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
飼い犬登録によって犬の登録を行うことにより、狂犬病予防注射を促進することで、狂犬病の発生予防を行った。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	マイクロチップを狂犬病予防法の鑑札とみなす特例制度に参加したことにより、マイクロチップが装着されている飼い犬については、窓口での新規登録・登録事項変更等の手続きが不要となった。
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	特記事項なし
--------	--------

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	狂犬病予防法に基づき、飼い犬の管理を行うとともに、狂犬病予防注射を促進することにより、狂犬病の予防を図ることができるため、現行通り継続して実施する必要がある。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	⑤保健・医療	2	健康づくりを支える環境の整備

事業名	防疫事業	担当課名	環境課
-----	------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、感染症の発生を予防し、その蔓延の防止を図り、公衆衛生の向上及び増進を図ることを目的とする。
(事業概要等)
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の規定に基づき、感染症の発生の予防、感染症の蔓延の防止の推進を図るため、大阪府保健所及び医療対策課等の関係機関と連携し、衛生害虫の駆除を実施する。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	819	842	441	11,712	
うち市負担分(千円)	819	842	441	11,712	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
セアカゴケグモ駆除回数	回	31	26	26	20
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
衛生害虫の駆除を行うことにより、感染症の予防対策及び快適な生活環境の保全を図った。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	R6年度からの委託化に向けて、薬剤購入量の調整を行った。
--------------------	------------------------------

【事業の課題】

課題・問題点	特記事項なし
--------	--------

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	感染症予防法に基づき、感染症の蔓延を未然に防止するため、継続して行う必要がある。防疫薬剤の散布等について、これまで業務職員により直営で実施してきたが、R6年度より現場作業を委託することにより、今後も安定的に事業を継続して実施できる体制を整える。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	1	公害防止対策の推進

事業名	公害測定事業	担当課名	環境課
-----	--------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、大気汚染防止法等の公害関係法令に基づき、工場及び事業場等から大気中・公共用水域に排出されるばい煙・排水・悪臭・地下水・土壌汚染・騒音・振動について必要な指導・規制を行い、生活環境を保全し、市民の健康の保護に資することを目的とする。
(事業概要等)
大気汚染防止法・水質汚濁防止法・土壌汚染対策法・ダイオキシン類対策特別措置法・騒音規制法・振動規制法・悪臭防止法・特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律・水道法等に基づく事業場立ち入り・指導・規制事務、及び大気分析、河川水分析、自動車騒音測定業務

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,674	1,936	2,996	5,084	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
測定調査数	種類	5	3	5	3
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
事業所規制における水質の行政検査を行うことで、水質汚濁の防止を図った。河川の水質検査を行うことで、水質汚濁状況の経年変化を検証した。自動車騒音の常時監視を行い、道路騒音状況の経年変化を検証した。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	特記事項なし
--------------------	--------

【事業の課題】

課題・問題点	特記事項なし
--------	--------

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	事業所規制・指導事務については、公害関係法令に基づく事務であるとともに、公害対策上、基本的な指標となるものであり、継続して実施する必要がある。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	②	ごみの減量化の推進

事業名	4R推進事業	担当課名	環境課
-----	--------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、循環型社会の形成に向けて4Rに関する取り組みを推進し、ごみの排出抑制や更なる資源化を図る。
(事業概要等)
4R(リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル)の推進に関する事業を実施する。 公共施設への給水スポットの設置、夏休みエコバスツアーの開催、啓発グッズやパンフレットの作成、ごみ分別アプリや出前講座等の実施により、ごみ分別・削減への意識啓発を図る。 また、ごみ拾いSNSアプリ「ピリカ」を活用し、環境美化活動の可視化と更なる活性化を図る。

【事業費】

項目/年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,276	2,355	2,774	4,782	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
エコバスツアー参加人数	人	0	15	13	40
ごみ拾いSNSアプリ「ピリカ」の新規利用アカウント数	件	9	16	9	16
給水機使用に係るペットボトル削減量(市役所設置分・1本500ml換算)	本		13,400	52,800	90,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
ごみの減量化を推進し、資源化に対する理解を深め、市民のごみ問題やごみの減量に対する意識の向上が図られた。 (令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、エコバスツアーは中止した。)					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	ピリカの新規登録や利用促進のため、キャンペーン期間内にピリカを用いて清掃活動した人に抽選でエコ関連グッズをプレゼントする企画を実施した。
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	更なるマイボトル利用促進のため、公共施設への給水機設置を拡大していく必要がある。
--------	--

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	ごみ減量及び再資源化の施策として効果的であると認められるため。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	②	ごみの減量化の推進

事業名	ごみ減量機器購入助成事業	担当課名	環境課
-----	--------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、一般家庭から排出される生ごみの減量化を促進し、市民のごみ問題やごみの減量に対する意識の向上を図る。
(事業概要等)
ごみ減量機器購入者に対し助成金を交付し、一般家庭から排出される生ごみの減量化及び資源化を促進する。 (購入費用の3分の2以内、上限40,000円) また、市民のごみ問題やごみの減量に対する意識の向上を図る。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	711	914	1,325	1,500	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
生ごみ処理機購入助成件数	件	24	28	40	50
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
ごみ減量機器購入者に対する助成金制度により、機器購入を促進し、一般家庭から排出される生ごみの減量化及び資源化が進展し、市民に対してごみ減量の意識向上が図られた。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	特記事項なし
--------------------	--------

【事業の課題】

課題・問題点	普及促進について検討をおこなう。
--------	------------------

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	ごみ減量及び資源再利用への施策として効果的と認められるため。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	②	ごみの減量化の推進

事業名	一般家庭ごみ減量化推進事業(地域環境基金活用事業)	担当課名	環境課
-----	---------------------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、家庭から出るごみの減量・分別、リサイクル意識の向上を図る。
(事業概要等)
家庭から出る可燃ごみについては、市の指定する有料の指定袋制とすることで、ごみの減量化に努める。また、ごみの減量、分別、リサイクル意識の向上を図るため、適正に排出されていないごみについては、作製した注意シールを貼付するなどにより啓発を行う。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	37,297	31,476	31,789	58,859	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
一般家庭ごみ(可燃ごみ)収集量	トン	10,610	10,069	9,774	9,169
一人一日あたりの一般家庭ごみ(可燃ごみ)排出量	グラム	396	377	366	347
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
指定袋制の導入により、一般家庭ごみ(可燃ごみ)量は減少している。令和5年度の一人一日あたりの一般家庭ごみ(可燃ごみ)排出量は、指定袋制導入前の平成21年度と比較して、約32%の減量効果があった。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	特記事項なし
--------------------	--------

【事業の課題】

課題・問題点	特記事項なし
--------	--------

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	ごみの減量化施策として有効な事業であるため。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	②	ごみの減量化の推進

事業名	一般家庭ごみ収集事業	担当課名	環境課
-----	------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、市民が安心快適に生活が営めるよう、可燃ごみの適切な処理体制の充実を図る。
(事業概要等)	市内の一般家庭等から排出される可燃ごみの収集運搬業務を委託する。 収集方法は戸別収集を原則とし、収集回数は週2回とする。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	273,866	281,033	291,153	342,157	
うち市負担分(千円)	273,866	281,033	291,153	342,157	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
一般家庭ごみ(可燃ごみ)収集量	トン	10,610	10,069	9,774	9,169
一人一日あたりの一般家庭ごみ(可燃ごみ)排出量	グラム	396	377	366	347
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
本業務に精通しているごみ収集業者が確実に業務を実施したことで、生活環境の保全及び公衆衛生の維持に寄与できた。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	特記事項なし
--------------------	--------

【事業の課題】

課題・問題点	特記事項なし
--------	--------

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	生活環境の保全及び公衆衛生の維持に必要な事業であるため。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	②	ごみの減量化の推進

事業名	資源ごみ収集事業	担当課名	環境課
-----	----------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、資源の再利用を推進するため、市民及び事業者に分別収集の徹底を啓発し、焼却ごみ量を抑制し、再資源化を図る。

(事業概要等)
かん、びん、せともの類、古紙類、ペットボトル、容器包装プラスチックの資源ごみの収集運搬を委託する。収集回数はかん、びん、せともの類は月2～3回、古紙類は月2回、ペットボトル、容器包装プラスチックは週1回とする。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	226,585	226,943	229,068	197,913	R6予算については 可燃ごみ分の比率 を見直し、減額
うち市負担分(千円)	223,047	222,339	229,068	197,913	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
家庭系資源ごみの収集量	トン	2,497	2,576	2,594	2,590

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)
かん、びん、ペットボトル、容器包装プラスチック、古紙等を回収することにより、資源の有効利用、リサイクルの推進が図られた。

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	特記事項なし
--------------------	--------

【事業の課題】

課題・問題点	特記事項なし
--------	--------

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	焼却ごみ量を減らし、再資源化を推進するため、分別収集の徹底を図るとともに、プラスチック資源循環促進法に係る対応について検討する。 容器包装系プラスチック以外のプラスチック製品の資源化について、受入先である泉北クリーンセンター並びに構成市である和泉市及び高石市と具体的な対応案について、今後協議を進めていく。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	②	ごみの減量化の推進

事業名	小型家電リサイクル推進事業	担当課名	環境課
-----	---------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、小型家電の再資源化を促進するため、経済的インセンティブを働かせ、ごみの減量化や資源再利用を推進するとともに、排出者の利便性の向上を図る。
(事業概要等)
小型家電リサイクル法の認定事業者のうち、宅配便による戸別回収を実施する事業者に対し補助金を交付する。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	771	648	559	980	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
申込件数	件	1,068	905	938	1,000
補助対象件数	件	925	735	924	1,000
回収重量	kg	10,414	8,681	8,994	10,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
認定事業者により、レアメタル等の再資源化が図られた。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	特記事項なし
--------------------	--------

【事業の課題】

課題・問題点	特記事項なし
--------	--------

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	ごみ減量及び再資源化の施策として、効果的であると認められるため。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	②	ごみの減量化の推進

事業名	食品ロス削減推進事業	担当課名	環境課
-----	------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、一般家庭から発生する食品ロスを削減するため、講座等を開催し、市民のごみ問題やごみの減量に対する意識啓発を図る。
(事業概要等)
食品ロス削減に係るパネル展(食ロス展)の開催や啓発物品を作製する。 令和5年度は、市民から環境に優しい「エコな料理レシピ」を募集し、市ホームページやSNSなどに掲載することで、環境に対する意識醸成を図る。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	0	77	21	220	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
参加人数(食ロス講座)	人		42		45
エコ料理レシピ応募件数	件			4	10
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
一般家庭から排出される生ごみの減量化及び資源化を促進し、市民のごみ問題やごみの減量に対する意識啓発が図られた。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	食品ロス削減をテーマとしたレシピを募集し、ごみの削減や食品ロスに関する問題等についてチラシの配付等、新たな取組をおこなった。
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	市民が実感しやすい啓発方法を検討する。 「新しい気づき」を市民が得られるような取組を検討する。
--------	--

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	B 改善し継続
上記評価理由および今後の方向性	ごみ減量の施策として効果的であると認められるため。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	②	ごみの減量化の推進

事業名	粗大ごみ収集事業	担当課名	環境課
-----	----------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、粗大ごみの有料収集を維持するとともに、電話等予約制により、粗大ごみの収集運搬を効率的に行う。
(事業概要等)
粗大ごみを排出する市民が、電話等で粗大ごみ申込センターに申込みをした際、排出者に収集日を通知し、申込センターで収集計画を立て、委託業者に連絡する業務を委託する。 当該粗大ごみの収集および運搬についても業務委託とする。 また、粗大ごみに貼付する粗大ごみ収集券を市内及び隣接市の取扱店での販売を委託する。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	40,463	38,267	38,581	46,291	
うち市負担分(千円)	29,498	28,789	30,043	37,291	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
電話による相談件数	件	10,620	9,817	9,414	9,000
粗大ごみ受付件数	件	10,515	9,410	9,161	8,910
インターネットによる受付割合 (指標を設定できない理由)	%	20	23	23	25
(成果の概要)	粗大ごみが道路を長時間占拠することもなく、効率的に収集することができた。				

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	特記事項なし
--------------------	--------

【事業の課題】

課題・問題点	特記事項なし
--------	--------

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	生活環境の保全及び公衆衛生の維持に必要な事業であるため。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画の位置づけ	政策名 ⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	基本施策名 ③環境保全	NO ③	施策の展開方向 まちなみ・景観美化の推進
--------------	---------------------------	----------------	---------	-------------------------

事業名	地域環境美化事業	担当課名	環境課
-----	----------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、清掃活動団体の活動後の廃棄物の回収を実施し、環境美化を推進する。

(事業概要等)
清掃活動団体の活動後の廃棄物を収集し、泉北クリーンセンターに運搬する。廃棄物の収集については、週1回、業務委託により実施する。
また、「ごみゼロ大作戦」や「スポGOMI大会」の運営など、ごみ拾い活動の啓発に関する業務を行う。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	/	1,351	1,325	2,967	R6より一般事務事業からスポごみの予算を異動
うち市負担分(千円)	/	1,351	1,325	2,967	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
ボランティア清掃ごみ(可燃ごみ)回収量	トン	209	240	234	228
スポごみ大会の参加申込人数	人	100	62	91	100

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)
ボランティア清掃ごみの回収により、環境美化の推進が図られた。

【事業の見直し】

R4年度からの変更点・改善点	特記事項なし
----------------	--------

【事業の課題】

課題・問題点	特記事項なし
--------	--------

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	生活環境の保全及び公衆衛生の維持に必要な事業であるため。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	2	良好な市街地の整備

事業名	不法広告物撤去事業	担当課名	環境課
-----	-----------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、屋外広告物法、大阪府屋外広告物条例に基づき、屋外広告物の表示及び屋外広告物を掲出する物件の設置並びにこれらの維持について、規制、指導、除去を行うことで、良好な景観を形成し、若しくは風致を維持し、又は公衆に対する危害防止を目的とする。
(事業概要等)
屋外広告物の規制・指導、不法屋外広告物の簡易除却等の事務を行う。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,127	729	814	275	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
撤去広告物数	枚	55	30	18	15
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
広告物の規制及び撤去等により、撤去広告物は、年々減少傾向にあり、良好な風致の形成及び危害防止に寄与している。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	特記事項なし
--------------------	--------

【事業の課題】

課題・問題点	特記事項なし
--------	--------

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	関係法令等に基づき、景観の形成、風致の維持、公衆衛生のため、継続して実施する。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	②	ごみの減量化の推進

事業名	有価物集団回収助成事業	担当課名	環境課
-----	-------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、ごみの分別収集の徹底を啓発し、焼却ごみ量を抑制し再資源化を図る。
(事業概要等)
集団回収実施団体が自主的に新聞、雑誌、ダンボール等の古紙を回収した場合に助成金の交付を行い、ごみの減量化及び資源再利用に対する市民意識の向上を図る。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	13,849	13,220	11,766	21,000	
うち市負担分(千円)	9,892	9,443	8,404	15,000	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
集団回収量	トン	1,679	1,596	1,391	1,200
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
ごみの減量化及び資源再利用に対する市民意識の向上が図られた。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	特記事項なし
--------------------	--------

【事業の課題】

課題・問題点	特記事項なし
--------	--------

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	ごみ減量及び資源再利用への施策として効果的であると認められるため。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	③	まちなみ・景観美化の推進

事業名	し尿処理事業	担当課名	環境課
-----	--------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、公共下水道未接続及び未整備地区のし尿処理の充実を図り、また、災害時浸水に伴う、し尿の適正処理及び環境衛生の確保を図る。
(事業概要等)
公共下水道未接続、及び未整備地区において、一般家庭のし尿汲取り業務を行った許可業者に対し、補助金を交付する。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	6,573	7,500	8,046	8,500	
うち市負担分(千円)	6,573	7,500	8,046	8,500	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
収集量	kL	1,734	1,846	1,745	1,745
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
し尿の適正処理により、環境衛生の確保ができた。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	平成29年度より、収集人口の減少に伴い収集経費の割合が困難となってきたため、くみ取り補助金を1人当たり300円から350円とし、令和2年度(5月)からは、350円から550円に引き上げた。 令和4年度は、必要経費を勘案した定額補助に見直した。
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	し尿汲み取り人口の減少により、収集効率の非効率化が年々進行している状況にあるため、くみ取り補助金額の見直しが必要である。
--------	--

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	し尿の適正処理及び環境衛生の確保を図るために必要な事業であるため。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	3	まちなみ・環境美化の推進

事業名	環境保全対策事務事業	担当課名	環境課
-----	------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律に基づく野生鳥獣の飼養登録、鳥獣の捕獲許可(鳥獣による生活環境、農林水産業又は生態系に関する被害の防止を目的とする。)及び環境保全条例に基づく空き地の適正管理を促し、環境保全を図る。
(事業概要等)
鳥獣の飼養登録・捕獲許可等の事務を行う。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	107	33	44	29	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
飼養登録及び捕獲許可件数	件	56	63	84	80
有害鳥獣個体措置件数	件	4	1	5	5
空き地適正管理指導件数	件	49	50	45	45
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
鳥獣の飼養登録及び捕獲許可並びに有害鳥獣の個体措置を行い、鳥獣の保護を図った。また、環境保全条例に基づき、空き地の適正管理を図った。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	特記事項なし
--------------------	--------

【事業の課題】

課題・問題点	特記事項なし
--------	--------

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	関係法令等に基づき、鳥獣の保護、空き地の適正管理の指導については、環境保全上、引き続き実施する必要がある。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	③	まちなみ・景観美化の推進

事業名	死獣収集事業	担当課名	環境課
-----	--------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、まちなみや景観美化、環境衛生の維持を図る。
(事業概要等)
市内道路など、公共の場所において放置されている飼主不明の動物死体を收容し、火葬場へ運搬する業務を委託する。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	4,510	4,510	4,510	8,730	R6予算は不法投 棄物及び死獣収 集となっている
うち市負担分(千円)	4,406	4,399	4,405	8,625	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
回収匹数	匹	319	326	356	250
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
業務委託により動物死体の迅速な収集処理が図られた。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	特記事項なし
--------------------	--------

【事業の課題】

課題・問題点	特記事項なし
--------	--------

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理 由および今 後の方向性	生活環境の保全及び公衆衛生の維持に必要な事業であるため。 ※R6より直営で実施してきた不法投棄物の収集業務を委託化し、死獣収集事業とあわせて一括した収集委託をおこなう。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	3	まちなみ・環境美化の推進

事業名	団体等育成支援事業(環境課)	担当課名	環境課
-----	----------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、衛生委員会・公衆浴場業生活衛生同業組合の活動を支援し、環境美化・公衆衛生の向上及び増進を図る。
(事業概要等)
環境美化、環境衛生の向上のため衛生委員会に対する支援を行うとともに、公衆衛生の向上及び公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律の規定に基づき、公衆浴場生活衛生同業組合を支援する。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	926	924	1,039	1,136	
うち市負担分(千円)	926	924	1,039	1,136	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
活動・運営補助金	千円	862	862	862	862
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
環境美化・公衆衛生の向上及び増進並びに住民福祉の向上に寄与するとともに、環境啓発及び公衆衛生の普及を図った。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	特記事項なし
--------------------	--------

【事業の課題】

課題・問題点	特記事項なし
--------	--------

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	環境美化、公衆衛生の向上及び増進並びに住民福祉の向上を図るため、引き続き実施する必要がある。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	③	まちなみ・景観美化の推進

事業名	中央公衆便所維持管理事業	担当課名	環境課
-----	--------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条第6項に規定される公衆便所を大津神社境内に設置し、公衆衛生の維持を図る。
(事業概要等)
利用頻度の高い大津神社内の中央公衆便所を維持するため、光熱水費の支払いや清掃業務を委託し、清潔の維持を図る。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,910	859	1,121	1,036	
うち市負担分(千円)	1,040	859	1,121	1,036	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
利用者推計として、水道使用量	m ³	103	115	114	100
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
利用しやすい公衆便所としての維持管理が図られた。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	特記事項なし
--------------------	--------

【事業の課題】

課題・問題点	供用開始後、約30年が経過していることから、施設の点検を行い、適切な補修を行う必要がある。
--------	---

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	生活環境の保全及び公衆衛生の維持に必要な事業であるため。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	③	まちなみ・景観美化の推進

事業名	不法投棄防止啓発事業	担当課名	環境課
-----	------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、不法投棄防止対策及び環境美化の推進を図る。
(事業概要等)	地域環境基金を活用し、市内全域において不法投棄監視パトロールを行う。 また、啓発看板を設置することで、ごみの減量・分別への意識啓発及び不法投棄を抑止する。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,088	900	1,019	1,080	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
環境美化、不法投棄等ごみ回収量	トン	3	3	3	3
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
泉大津市衛生委員会に不法投棄監視パトロール業務を委託し、市内巡回パトロールを行うことで、違反ごみ、不法投棄ごみに対し、迅速に対応できた。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	特記事項なし
--------------------	--------

【事業の課題】

課題・問題点	特記事項なし
--------	--------

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	不法投棄の防止や環境美化の推進に必要な事業であるため。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	4	地球環境の保全

事業名	ゼロカーボンシティ推進事業	担当課名	環境課
-----	---------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目標に、脱炭素社会の実現に向けた取組を進める。
(事業概要等)
脱炭素社会の実現に向けた取り組みを推進するため、市民・事業者等への啓発を行うとともに、再生可能エネルギー・省エネルギー設備などを設置する者に対して補助を行う。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	-	-	15,514	16,488	
うち市負担分(千円)	-	-	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
再生可能エネルギー設備等設置補助件数	件	182	272	284	300
省エネ家電買替補助件数	件	-	-	202	200
イベント等での啓発	回	36	1	2	2
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
再生可能エネルギー設備等を設置する者を設置する者に対して、補助金を交付することにより、温室効果ガス排出量の削減と環境保全意識の向上を図った。また、ゼロカーボンシティの認知度向上等を図るため、環境イベントを開催し、市民・事業者に向けて啓発を行った。 ※R3年度・R4年度実績値は、「高効率エネルギーシステム設置助成事業」「住宅用太陽光発電システム設置補助事業」「新エネルギー導入促進事業」の実績を記載。(事業はいずれもR4年度で終了)					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	ゼロカーボンシティ推進に係る事業を効果的・効率的に実施するため、新エネルギー導入促進事業・高効率エネルギーシステム設置助成事業、住宅用太陽光発電システム設置補助事業を集約化した。
--------------------	---

【事業の課題】

課題・問題点	特記事項なし
--------	--------

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	脱炭素社会の実現に向けて、ゼロカーボンシティの認知度向上と市民・事業者の活動を後押しするため補助・支援を行うため、引き続き実施する必要がある。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	4	地球環境の保全

事業名	自転車活用促進事業	担当課名	環境課
-----	-----------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、未就学児を1名以上養育している世帯に対し幼児2人同乗基準適合車への購入助成を行うことで、子育て世帯にも安心安全な自転車の利用を促進し、環境に配慮するとともに子どもにやさしいまちづくりを推進する。
(事業概要等)
幼児2人同乗基準適合車の購入者に助成を行うことで、子育て支援を行うとともに、自動車利用の抑制することにより、温室効果ガス排出量の削減を図る。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,325	3,408	2,475	7,125	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
助成金交付件数	件	74	80	58	150
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
幼児2人同乗用自転車の購入者に助成することで、子育て支援を行うとともに、自転車利用の抑制し、温室効果ガス排出量の削減により、地球温暖化対策を進めた。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	市内店舗と市外店舗での購入で、助成額差をつけ市内事業者での購入を促した。 R6年度から、これまで幼児2人を養育していることが条件であったものを、幼児1人からでも補助の対象とすることにより、更なる自動車利用の抑制と子育て支援を図る。
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	特記事項なし
--------	--------

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	幼児2人同乗用自転車の普及により、自動車利用を抑制し温室効果ガス排出量を削減するとともに、安全で子どもにやさしいまちづくりを推進していくため、引き続き実施する。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	4	地球環境の保全

事業名	脱炭素化促進事業	担当課名	環境課
-----	----------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、市公共施設における太陽光発電設備の設置可能性を調査し、計画的な設備導入を図る。
(事業概要等)
市公共施設等への太陽光発電設備の最大限の導入に向けて、設置可能性調査を実施する。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	-	-	9,521	3,318	
うち市負担分(千円)	-	-	2,381	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
(指標を設定できない理由)					
R5年度の事業については、太陽光発電設備の導入に向けた調査であるため、指標を設定するものではない。					
(成果の概要)					
市公共施設における太陽光発電設備の導入を推進するため、設置可能性調査を行い、ポテンシャル等の把握を行った。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	令和5年度から実施
--------------------	-----------

【事業の課題】

課題・問題点	調査結果をもとに、太陽光発電設備を計画的に設置していく必要があるため、国補助金等を活用し予算を確保する必要がある。
--------	---

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	ゼロカーボンシティの実現のため、市公共施設の脱炭素化を図る必要があるため、継続して実施する。 令和6年度は、市公共施設における温室効果ガス排出量を効果的に削減し職員の意識向上を図るため、市事務事業における温室効果ガス排出量の把握に向けたシステム導入等を実施する。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	4	地球環境の保全

事業名	緑のカーテン推進事業	担当課名	環境課
-----	------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、環境負荷を低減する緑のカーテンの普及促進を図ることにより、地球温暖化防止対策の啓発を目的とする。
(事業概要等)
公共施設並びに家庭等につる性植物を用いた緑のカーテンを設置し、室内温度の上昇を抑制することにより、エアコンの使用時間を減少し温室効果ガス排出量の削減を図る。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	726	110	121	280	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
設置施設数(公共施設)	箇所	18	8	9	10
苗配布数	苗	-	-	75	100
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
緑のカーテンを各公共施設に配置することで、温室効果ガス排出量の削減と市民の環境意識の啓発を行い、地球温暖化防止対策を進めた。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	各家庭での設置を促すため、6/5環境の日前後に実施する啓発パネル展示に合わせて、ゴーヤ苗の配布を行った。
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	特記事項なし
--------	--------

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	地球温暖化防止対策及び環境共育に有効な施策であるため、引き続き実施する。